

飛騨蔬菜出荷組合ほうれんそう部会 若菜会 (岐阜県高山市)

実証面積：4.4ha

実証課題名

中山間地域の夏ほうれんそうにおける産地全体で取り組むシェアリング・新たな通信サービスモデルの実証

構成員

高山市、岐阜県、NPO法人東海地域生物系先端技術研究会、(株)インターネットイニシアティブ、(株)インフォファーム、フューチャアグリ(株)、(株)東海近畿クボタ、J A ひだ、飛騨蔬菜出荷組合ほうれんそう部会若菜会



背景・課題

- 高山市は年間約 42 億円の販売額を挙げる日本一の夏ほうれんそう産地です。
- 人口減少・高齢化により労働力不足が深刻化しており、対策が急務です。
- 次世代の担い手である「若菜会」が産地の発展のために取り組んでいきます。



雨よけハウスによるほうれんそう栽培

本実証プロジェクトにかける想い

産地を発展させていくために、スマート農業技術や無線通信基地局の共同利用を通して、生産コストの低減と販売力の強化を目指します。
産地が一丸となって課題の解決に取り組めます。

目標

- 作業効率の向上による生産コストの 5% 低減と自動制御による栽培環境の改善で単収を 3% 向上させ、農業所得を 8% 向上。
- 出荷予測精度の向上
- 通信基地局を共同利用する仕組みの構築

実証する技術体系の概要

要素技術

- ①遮光カーテンの自動制御②ラジコン草刈り機 (シェアリング)③自動追従型運搬機④アシストスーツ
- ⑤AI 等による出荷量予測⑥通信基地局の共同利用

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「見られる」ポイント					1	2	3	4	5	6		

①遮光カーテンの自動制御
(岐阜県中山間農業研究所)

②ラジコン草刈り機
(株) 東海近畿クボタ

⑤AI 等による出荷量予測
(株) インフォファーム

⑥通信基地局の共同利用
(株) インターネットイニシアティブ

問い合わせ先

- ▶実証代表 高山市役所農政部農務課 noumu@city.takayama.lg.jp
- ▶視察等の受入について 同上